

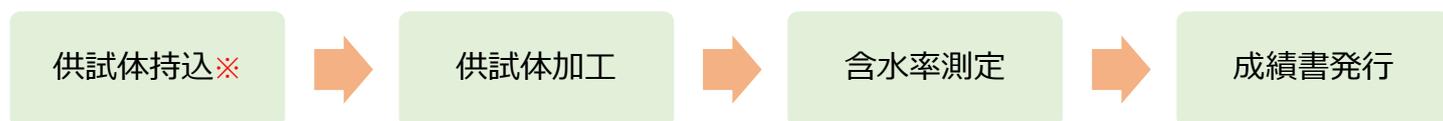
硬化コンクリートの含水率測定 (JIS A 1476)

コンクリート構造物の劣化要因の一つに水の影響が考えられます。コンクリート構造物内に分布する水分により凍害、アルカリシリカ反応、鉄筋の腐食などの劣化の原因となります。そのため、近年ではコンクリートの耐久性を知る一つの方法として含水率測定が注目されています。

硬化コンクリートの含水率測定とは、コンクリート構造物からコンクリートコア等を採用し、コンクリート中に含まれる水分の割合を測定する方法です。

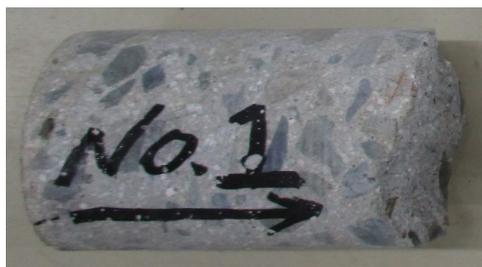
当機構では、JIS A 1476に基づいた硬化コンクリートの含水率測定を実施しています。

I. 試験の流れ



※供試体採取は可能な限り乾式での採取をお願いいたします。また、雨または水に浸漬した状態で供試体をサンプリングした場合は、試料表面の付着した水等を硬く絞った布等で拭き取っていただき、ポリエチレンフィルム等で密閉した状態にて搬入をお願いいたします。

II. 供試体加工



加工前コンクリート供試体
(持ち込み時)



加工後のコンクリート供試体
(20mmピッチでカット)

III. 含水率の算出

含水率は下式により算出します

$$u = \frac{m - m_0}{m_0}$$

u : 質量基準量含水率 (kg / kg)
 m : 乾燥前の供試体の質量 (kg)
 m_0 : 乾燥後の供試体の質量 (kg)

IV. 試験方法および引用規格

試験引用規格	規格内容	
	試験名称	試験内容
JIS A 1476	建設材料の含水率測定方法	乾燥前の試料の質量と加熱乾燥させた後の質量によって求める

お問い合わせ先 <https://www.jqa.jp>

一般財団法人 日本品質保証機構 中部試験センター 名古屋マテリアルテクノ試験所

〒481-0043 愛知県北名古屋市沖村沖浦39 TEL 0568-24-2204 / FAX 0568-24-1630 E-mail chubu-cstm@jqa.jp